

文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公开发表(B)」

一般社団法人 文化財保存修復学会 公開シンポジウム

# 大規模自然災害における 文化財レスキュー

## 阪神・淡路から東日本大震災

文化財をまもる  
災害から文化財をまもる

文化財における自然災害への対応は、  
1995年の阪神・淡路大震災を契機として様々な取り組みがなされてきました。  
文化財保存修復学会では「災害対策調査部会」を常設の部会として設置し、  
様々な組織と連携しながら活動を展開しています。  
特に近年は大規模災害が頻発しており、  
被災地の教育委員会からの要請を受ける形で、被災文化財の修理設計をおこない、  
本来の文化財の価値を損なわない確かな修理が実施されるように協力しています。  
また、公開シンポジウム等の機会を積極的に設け、  
「減災」についての問題提起もおこない、  
地震対策としての、免震台とテグスを用いた展示手法の有効性を実証しました。  
このような取り組みの中、今回の東日本大震災では、  
日頃重ねてきた悉皆調査の成果を基に迅速な対応をした  
NPO法人「宮城歴史資料保全ネットワーク」の活動に大いに学んでおります。  
本シンポジウムではこうした歩みを総括しながら、  
東日本大震災への取り組みと今後の展開について考えます。

参加無料  
要・事前申込

総合司会：園田直子(国立民族学博物館)

### 開会挨拶

10:00～10:05 一般社団法人文化財保存修復学会会長 三輪嘉六(九州国立博物館)

### 基調講演

座長：内田俊秀(京都造形芸術大学)

10:05～10:45 阪神・淡路大震災から東日本大震災—学会としての取り組み—  
三輪嘉六

10:45～12:00 3.11大震災と宮城資料ネットの歴史資料レスキュー—  
活動から見てきたこと—

NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク事務局長 佐藤大介(東北大学)

### 活動報告

座長：村上 隆(京都国立博物館)

13:20～13:40 阪神・淡路大震災における活動の課題  
内田俊秀

13:40～14:00 中越地震における活動の課題—救援の要請と被災資料の修理—  
本田光子(九州国立博物館)

14:00～14:20 能登半島地震における文化財復興支援活動—被災資料の調査・修復から復興へ—  
中村晋也(金沢学院大学)

14:20～14:40 東日本大震災における文化財レスキューについて—民俗資料を中心に—  
日高真吾(国立民族学博物館)

### パネルディスカッション

14:55～16:20 文化財レスキュー—16年の歩みと今後—

コーディネーター：森田 稔(九州国立博物館)

パネリスト：三輪嘉六・佐藤大介・内田俊秀・本田光子  
中村晋也・日高真吾・村上 隆

### 総括と閉会挨拶

16:20～16:30 一般社団法人文化財保存修復学会会長 三輪嘉六

日時—平成23年12月3日(土)

会場—国立民族学博物館  
(大阪府吹田市千里万博公園10-1)

主催—一般社団法人文化財保存修復学会  
共催—国立民族学博物館

### 〈実行委員会〉

委員長 三輪嘉六 副委員長 内田俊秀  
委員 岡 泰央・園田直子・中村晋也・日高真吾  
本田光子・松田泰典・村上 隆・森田 稔

### 〈事務局〉

株式会社クバプロ 〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F  
TEL: 03-3238-1689 FAX: 03-3238-1837  
e-mail: symposium@kuba.jp

### 〈申込方法〉

ホームページ上の申込フォーム、または①氏名(フリガナ)、②住所(自宅または勤務先のどちらかを明記)、③電話番号、④職業、⑤Eメールアドレス、⑥今後のシンポジウムの案内希望の有無、以上をご記入のうえ、Eメール、はがき、FAXにて事務局までお申込みください。

※参加申込にてご提供いただきました個人情報は、本シンポジウムの受付と統計・分析および関連イベントのご案内以外には使用いたしません。

<http://www.kuba.co.jp/bunkazai2011/>